

おーいと呼んでください。いつでも、どこへでも、スグに駆けつけます！！

神戸市会NEWS VOL.66

2016.夏号

民進こうべ政策議員団

■編集・発行:民進こうべ政策議員団

〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
TEL(078)322-5844 FAX(078)322-6161
ホームページ <http://www.kobe-minshu.jp>

安心・安全、住みよい須磨の街づくりに全力投球！

須磨区のために真剣です。

民進こうべ政策議員団 幹事長

神戸市会議員（須磨区）



大井としひろ

須磨区の皆様いつもお世話になります。暑い日が続いますが、いかがお過ごしでしょうか。熱中症など、お体に気をつけて、健康にご留意ください。

今年度は、民進こうべ政策議員団の幹事長として、会派の要として円滑な議会運営に全力投球いたします。

初心忘れず、市政・議会の改革に取り組み「市民の皆さんのが主役」のまちづくりに取り組んでまいります。お気軽に「おーい」とお声をかけていただき、須磨区民の皆様と共に明るく元気で、安心・安全な須磨のまちづくりに全力投球で取り組んでまいりますので、今年度もよろしくお願ひいたします。

6月21日に開会されました経済港湾常任委員会の質疑の様子を一部ご報告します。



※最新の活動報告は「おーいブログ」でチェック!!

大井としひろ

検索



■大井としひろのTwitter(ツイッター) KOBE_SUMA_001

経済港湾常任委員会（質問要旨・抜粋）

（須磨パティオの店舗運営について）

Q 大井としひろ議員

須磨パティオでは、この4月から飲食店を中心に、20店舗前後が閉店やリニューアルをしているようだが、退店する店舗も多いようなので、経緯をお伺いしたい。

A 分譲推進 担当部長

須磨パティオは設立より36周年を迎え、リニューアルを行っている。期間としては、平成28年4月から9月末までを目標に取り組んでいる。15店舗が退店、3店舗が移転、2店舗が増設する。また12店舗を新しく迎え、計17店舗リニューアルする予定である。



Q 再質問 大井としひろ議員

今回退店する店舗の中には、残りたいと思っている店舗が何店舗かあったように伺っているが、これは本当か。

A 局長

最初に、最近の店舗の入れ替わりは早いので大体3年から5年の定期借家契約がベースとなっている。入居している店舗の中には、OMこうべの指導を聞かない企業もある。その場合は、大体半年前までには借家期限を通知した上で、今後どうするのかといった協議を行う。最終的には相手方の合意を得た上で、契約の解約を行っている。中には意見の相違がある店もあるが、最終的には合意を得ている状況である。

Q 再質問 大井としひろ議員

今回退店する店舗の中には、寿司屋があるが、その後に新規オープンするのも、別の寿司屋ということで告知が貼ってある。この新規の寿司屋を決定する際、入札などの公正な競争によって行ったのか。



A 局長

基本的には、空きができそになれば、誘致を行う。誘致先と条件で合意できれば、契約する。今回誘致する業者については、リニューアルに際し、一定のアンケートをとり、モニターからの意見を聞いた上で、企業の誘致を行っている。

Q 再質問 大井としひろ議員

要は随意契約ということか。

A 局長

最終的にはそうである。

Q 再質問 大井としひろ議員

OMこうべには職員が100名ほどおり、OB含めて市職員が40名ほどいる。要は、公務員とみなされる職務を遂行していると考えられるが、神戸市では22年度に判明した不適正経理処理の反省を踏まえ、「神戸市職員コンプライアンス共有理念」が定められている。

新たに出店する店舗の業者選考に際して、この理念を徹底できたとお考えか。

A 局長

行政施設であれば、当然公募を行うが、株式会社の施設であるため、そういう方法は行わないということをまず報告させて頂く。しかし、当然ながらOMこうべは、会社の中で、コンプライアンスを持っているので、それに従って業務を遂行し、また監査役もいるので、行った業務のチェックもできていると考えている。

ただし、株式会社であるので、基本的に公募といった方法ではなく、誘致を行い、誘致した企業と交渉できたら、契約を行う。これは、相手方と利益や便宜を供与したという状態ではなく、きちんと相手方と交渉を行って、契約をしている。そのため、企業コンプライアンス上、問題はないと考える。



Q 再質問 大井としひろ議員

元々やっていた寿司屋がまだ続けたいと要望していたにも関わらず、退店させ、その後、また新しい寿司屋を入れるということは何かあるのではないかと疑われても仕方ない。このように疑われるようなことはやってはならないと思う。こういうやり方は、見直した方が良いのではないか。

A 局長

改善の余地はあるかと思うが、OMの名譽のために申し上げると、OMの指導も聞いてもらえておらず、OMとはトラブル状態にあった。ただ、次も飲食店をベースに誘致をしていたところ、たまたま同様の形態と寿司屋が見つかり、規模も大きくなってオープンすることになった。問題のあった手続きを行ったという事実は確認していない。

要望 大井としひろ議員

「法令等を遵守し、全体の奉仕者として全ての市民に対して、常に誠実で公正、公平に職務を執行する」という理念に従って、遂行してもらわなければならない。

突然、行ったら食べるお店が無くなっていたという事態が生じたことも含めて、細かな観点から考えると、須磨パティオのリニューアルのやり方は腑に落ちない。市民中心ということが頭に無ければならない。やはり、民間委託した方が良いのではないか。良い機会だと思うので、今までの神戸市のやり方を見直して頂きたい。

A 局長

OMこうべは三セクであり、我々はOMこうべの筆頭株主であるので、それを肝に銘じ、OMこうべには、今回のリニューアルに際して、反省すべき点は反省し、市民本位の経営に立ち返り、今後の経営を進めるよう、きつく申し伝える。

詳しくは、大井としひろ「おーい」ブログで